

各位

会社名 積水化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 敬太
(コード番号 4204 東証第1部)
問合せ先 専務執行役員 上脇 太
(電話番号 03-6748-6467)

積水化学グループ 長期ビジョン「Vision 2030」の策定について

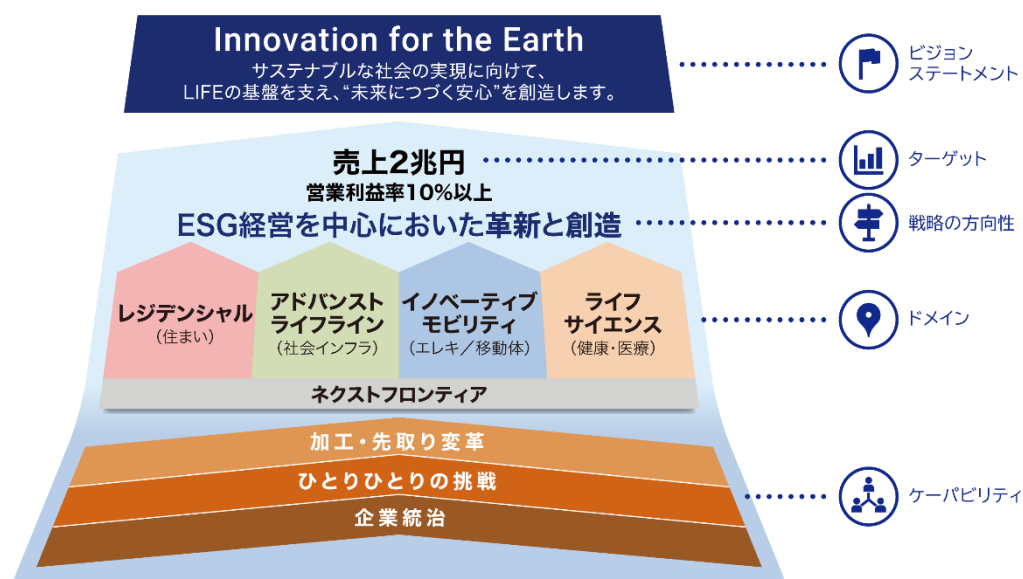
積水化学工業株式会社（本社所在地：大阪市、代表取締役社長：加藤 敬太、以下「積水化学」）は、今後、社会課題の大きな変化が想定される中、イノベーションにより持続的成長を続けるために、2030年度までの長期ビジョン「**Vision 2030**」を以下のとおり策定しました。

■積水化学グループ 長期ビジョン「Vision 2030」

1. 全体像

この長期ビジョンでは、「**Innovation for the Earth**」をビジョンステートメントとして掲げます。積水化学グループがイノベーションを起こし続けることにより、「持続可能な社会の実現に向けて、**LIFE**の基盤を支え、“未来につづく安心”を創造していく」という強い意志を込めています。社会課題解決に取り組み、個人と社会の**LIFE**を土台から支え、未来の世代を含めたあらゆる世代に対し、持続性を高める製品やサービスを通じて、安心とそこから発展する価値を創造・提供していきます。

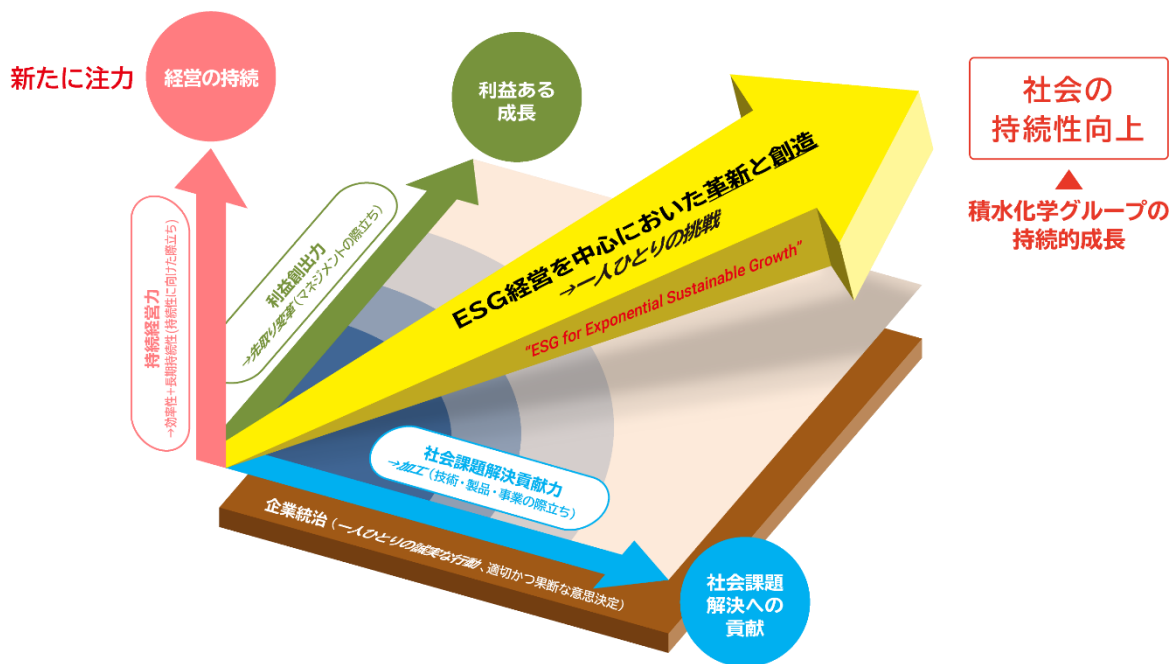
レジデンシャル（住まい）、アドバンスライフライン（社会インフラ）、イノベティブモビリティ（エレクトロニクス／移動体）、ライフサイエンス（健康・医療）の4つのドメインを設定し、「ESG経営を中心においた革新と創造」を戦略の軸にして現有事業の拡大と新領域への挑戦に取り組み、2030年に売上高2兆円・営業利益率10%以上を目指します。



3. サステナブルな貢献拡大に向けた考え方

サステナブルな社会の実現のために、経営の持続性が企業に求められています。そのような中で、これまで取り組んできた「社会課題解決力」、「利益創出力」を高めることで社会課題解決への貢献を通じた利益ある成長を継続しつつ、新たに「持続経営力」を設定してサステナブルな貢献の拡大を目指します。

これら3つの力を軸として、ESG経営を中心においた革新と創造を進展させ、積水化学グループの持続的成長と社会の持続性向上を実現していきます。



4. 経営資源の積極投入

サステナブルな貢献拡大による業容倍増に向け、積極的に投資を拡大していきます。長期ビジョンにおいて「次なる成長への仕込みの加速」を担う新中期経営計画「**Drive 2022**」では、対前中期比で3,000億円増の5,000億円を投資枠で設定します。財務の健全性、リターン確度を向上させることには留意しつつ、2020年～2030年累計で総額2兆円超の成長投資・研究開発費を想定しています。

*次ページにご参考として「ビジョンステートメント」と「ケーパビリティ」の概要掲載

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

※発表日以降当面、恐れ入りますが、E-mailにてご連絡いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

積水化学工業株式会社 広報部 Email:kouhou@sekisui.com

TEL:03-6748-6467 FAX:03-6748-6547



ビジョンステートメント

長期ビジョン全体を簡潔に示し、社内外に取り組みを促す声明・宣言

Innovation for the Earth

サステナブルな社会の実現に向けて、
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します。

ビジョンステートメントに込めた想い

Innovation for the Earth	“Earth”には、「地球」という意味と「地球上の住民」という意味があり、イノベーションで“Earth”に貢献し続ける当社グループの姿勢を示しています。
サステナブルな社会の実現	SDGsが掲げる2030年までのゴールイメージ「サステナブルな社会」を積水化学グループも共有し、その実現のために社会課題解決へ取り組んでいくことを示しています。
LIFEの基盤を支える	くらしや生命、ライフラインといった当社の事業領域をLIFEという言葉で簡潔にあらわし、個人と社会のLIFEを土台から支えることを示しています。
未来につづく安心	未来の世代も含めたあらゆる世代に対し、持続性を高める製品やサービスを通じて、安心とそこから発展する価値（快適・レジリエント・スマート・健康など）を創造・提供することを示しています。



ケーパビリティ

ビジョン実現に向けて磨き上げる組織能力

